

授業科目	臨床栄養学	3 学年・前期・1 単位 (15 時間)	
		理学 作業	選択 必修

科目担当責任者	太田久晶 (保健医療学棟 E512 号) e-mail : hisoh@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	齊藤秀和 (保健医療学棟 E504 号) e-mail : hidekazu@sapmed.ac.jp
担当教員	青木亜砂子、(志賀一希)、(澤田篤史)、(長多好恵)、未定(大学附属病院管理栄養士4名)		
概要	臨床栄養とは、栄養科学および医療の原理を、栄養素の欠乏症、過剰症あるいは代謝の均衡異常によって生じた人の疾患の診断、治療、および予防のために応用することである。近年は食生活の変化から疾患構造が変化しており、生活習慣病の概念から、これまでの早期発見・早期治療から早期介入・疾患予防が目標とされている。それゆえリハビリテーションの立場から健康維持・増進や疾患予防を含めた、治療のための栄養に関する知識を学ぶ。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養の基礎的知識を述べることができる。 2. 食生活の変化に伴う身体的状況、疾病構造の変化を説明できる。 3. 健康維持・増進、疾病予防のために栄養学、薬と食物の関連について述べるができる。 4. リハビリテーションに必要な栄養の知識について説明できる。 5. 病院における食事療法、栄養サポートチームの役割を説明できる。 		
関連科目	内科学1・2		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考 ・提出物：記載内容については、講義の中で説明する。
	筆記試験	70%	
	提出物	30%	
教科書	指定なし		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	リハビリテーションを実践していく上で、栄養サポートチーム(NST)の一員として参加できる知識を習得する。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	栄養学の基礎知識	事後：配布資料の復習	講義	(志賀)
2	薬物療法の基本 運動療法における薬物療法	〃	〃	(長多)
3	地域における栄養指導 生活習慣病・介護予防のための栄養指導	事前：生活習慣病の原因を予習する 事後：配布資料の復習	〃	青木
4	チームアプローチ 大学病院における栄養サポートチーム	事後：配布資料の復習	〃	附属病院 管理栄養 士
5	栄養指導 大学病院における栄養指導	〃	〃	〃
6	病院食 入院中の食事療法	〃	〃	〃
7	病態別の栄養学	事前：代謝・循環器疾患の食事について予習 事後：配布資料の復習	〃	〃

8	リハビリテーションに必要な栄養の知識	事前：運動と栄養について予習 事後：配布資料の復習	”	(澤田)
---	--------------------	------------------------------	---	------